



単位とは

▶ p.30 「単位制度」

単位とは、学修時間を表します。一定の時間数を学修し、試験などで科目の内容を十分に理解したと認められる（合格する）と一定の単位を修得できます。

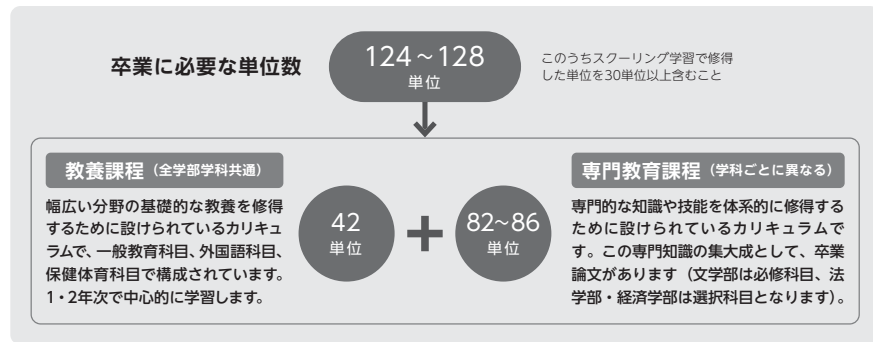


卒業所要単位

▶ p.68 「進級要件」

▶ p.70 「卒業要件」

卒業に必要な単位は以下のとおりです。



科目構成単位

各科目にはそれぞれ「科目構成単位」が決められています。構成単位を満たしていない科目は、原則として卒業所要単位には算入されません。また、修得した単位が構成単位を満たすと、その科目の学習は終了となり、原則として再度履修することはできません。

◆ 編入学者の単位認定について

▶ p.30 「4 編入学時の単位認定」

2年次生以上に編入学をした場合、短期大学や大学、高等専門学校など出身校での修得単位を「既修得単位」として卒業所要単位に認定しています。学習開始前に自身の認定単位範囲を編入学時にお届けした「履修・成績通知書」で確認してください。

通信教育部では学習の進捗をはかる物差しとして「単位」を使います。卒業に必要な「単位」や、その修得方法について確認しましょう。



単位の修得方法

▶ pp.32-34 「学習の仕組み」



通信学習で修得できる単位数

設題数に応じて4単位または2単位修得できます。



スクーリング学習で修得できる単位数

一部の科目を除いて、2単位修得できます。

単修試験・単位修得試験 スク試験：スクーリング試験

科目構成単位が4単位の場合	<p>方法1</p> <p>通信学習で4単位修得する</p>	<p>通信学習</p> <p>レポート(第1回と第2回) + 単修試験*</p> <p>4単位 + 4単位 = 卒業所要単位に算入</p> <p>4単位</p> <p>*1度に4単位分を受験します。</p>
	<p>方法2</p> <p>スクーリング学習と通信学習で2単位ずつ修得する</p>	<p>①スクーリング学習</p> <p>面接授業 + スク試験</p> <p>2単位 + 2単位 = 卒業所要単位に算入</p> <p>2単位</p> <p>②通信学習</p> <p>レポート* + 単修試験</p> <p>2単位 + 2単位 = 卒業所要単位に算入</p> <p>2単位</p> <p>*レポートの提出は、スクーリング学習の途中であっても可能です。ただし、この方法では、スクーリングで2単位修得(受験票発送予定日▶p.119)時点でスクーリング試験合格が確定)した後でなければ、2単位分の単位修得試験は受験できません。</p>
	<p>方法3</p> <p>スクーリング学習で4単位修得する</p>	<p>スクーリング学習 1回目</p> <p>面接授業 + スク試験</p> <p>2単位 + 2単位 = 卒業所要単位に算入</p> <p>2単位</p> <p>スクーリング学習 2回目</p> <p>面接授業 + スク試験</p> <p>2単位 + 2単位 = 卒業所要単位に算入</p> <p>2単位</p>
科目構成単位が2単位の場合	<p>方法1</p> <p>通信学習で2単位修得する</p>	<p>通信学習</p> <p>レポート(第1回) + 単修試験</p> <p>2単位 + 2単位 = 卒業所要単位に算入</p> <p>2単位</p>
	<p>方法2</p> <p>スクーリング学習で2単位修得する</p>	<p>スクーリング学習</p> <p>面接授業 + スク試験</p> <p>2単位 + 2単位 = 卒業所要単位に算入</p> <p>2単位</p>